２０２０年全日本カート選手権／ジュニアカート選手権適用車両規定

下線部：変更箇所

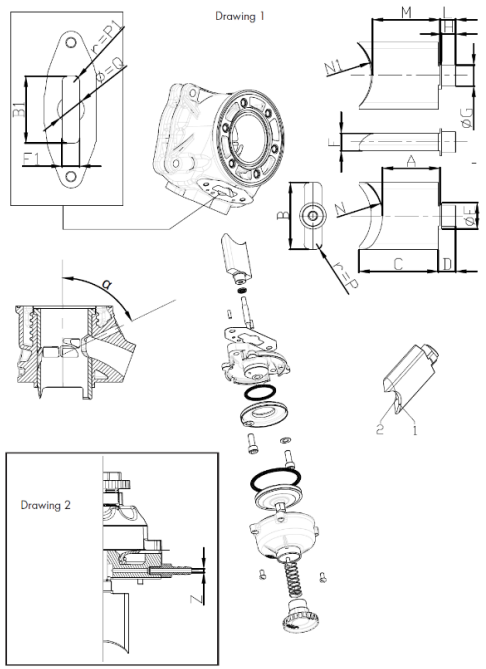
２０２０年規定	２０１９年規定
	全日本カート選手権ＯＫ部門適用車両規定 １．ダイレクト・ドライブ・シングル・シリンダー・２ストローク・レシプロケーシング・エンジンで、ＣＩＫ－ＦＩＡによって公認されたもの。公認エンジンのいかなる改造も、技術規定５．２．２（＊）に基づき認められる。 ２．水冷（クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッド）は１回路のみとする。 ３．冷却は、単一回路の１つの自由なラジエターに制限され、いかなる他の組み合わせも除外される。サーモスタットの正常な機能のために内部回路を付加することは認められる。 ４．図Ｎｏ．２２に合致し、エンジンとともに公認された特定の単一型パワーバルブ。

DESSIN TECHNIQUE N° 22

Spécification de la Power-Valve (Partie 1)

TECHNICAL DRAWING No. 22

Specification of the Power-Valve (Part 1)



５．過給は禁止する。

６．燃料室の最小容積は９ｃｃとし、付則Ｎｏ．１ｃによる測定方法とする。

７．スパーク・プラグ：銘柄は自由（量産品で厳密の当初のままとする）。シリンダーヘッド上に締め込まれたスパーク・プラグのバレル（電極は含まない）は、燃焼室ドームの上部を超えてはならない。

８．排気角度は排気ポートで最大１９４°とし、その測定は技術規定２．２５．３．２に記載されている方法に従い、ライナーのレベルで行われる。

９．デコンプレッションバルブが義務付けられる。それは、シリンダーヘッド頂部に装着されなければならない。

10. スパーク・プラグハウジングのねじ山の寸法ー長さ：　　１８．５mm；ピッチ：Ｍ１４×１．２５

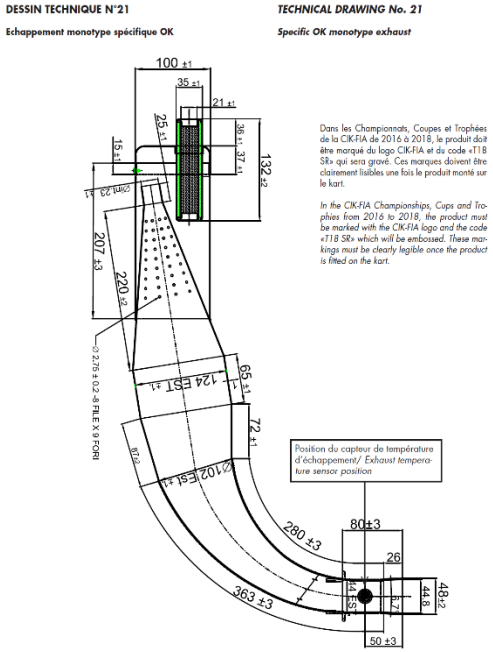
11. 最大１６，０００ｒｐmの指定リミッター付き公認点火装置。

12. 最大直径２４mmの２本の調整用スクリューを備える公認バタフライタイプキャブレターで、公認書上の吸気ダクトのすべての寸法および形状が厳密にオリジナルのま

までなければならない。また、吸気ダクトの形状を検査するために製造者によって預託された工具に適合していなければならない。

その他すべての、キャブレター本体内部または外部の、寸法のない穴やミリ単位の溝は数と位置において公認書と一致していなければならない。

13. 最大直径２４mmの２本の調整用スクリューを備えるＫＦ２公認バタフライタイプキャブレターを使用する場合、厳密にオリジナルのままでなければならない。疑義を避けるため、このことは、キャブレターが、合理的な製造上の公差の範囲内で、公認査察時に査察員によって封印されＣＩＫ－ＦＩＡで保管されているキャブレターとすべての面で同一でなければならないことを意味する。また、当該公認書および吸気ダクトの形状を検査するための製造者によって預託された工具に適合していなければならない。
14. クラッチは認められない。
15. スターターは認められない。
16. 図Ｎｏ．２１に合致しOK公認された特定の単一型排気装置



17. ＣＩＫ－ＦＩＡ公認の２３mmのダクトを２つ備えた吸気消音器
18. タイヤ：５インチ

	19. 最低総重量：１４５ｋｇ（ドライバー含む） 20. カートの最低重量（燃料を除く）：７０ｋｇ 21. ブレーキシステム（キャリパー、ディスク、パッド、配管、マスターシリンダー）は、ＣＩＫ－ＦＩＡの有効なブレーキ公認を有する製造者によって製造されたものでなくてはならない。 ＊ＣＩＫ－ＦＩＡカート技術規定５．２．２ リードバルブインテークのみが認められる。 公認エンジンの当初の部品は、常に公認書に記載される写真、図面、材質、物理的寸法と合致し同一でなければならない。 許される改造：以下を除き公認エンジンへのすべての改造が認められる。 ａ）エンジン内部： －ストローク －ボア（最大限度を超えて） －コネクティングロッド中心線 －シリンダーおよびクランクケースのトランスファーダクトおよび吸気ポートの数 －排気ポートおよびダクトの数 －特別規定に基づく制約事項 －燃料に加えられる潤滑油の量は４％に制限される。 ｂ）エンジン外部： －キャブレターの数（公認されたキャブレターの使用が義務付けられることによる） －搭載エンジンの外観 以下はエンジン外観の改造とみなされない： パーツ色の変更 冷却コネクションのトリミングおよび固定部の変更 （キャブレター・イグニッション・排気装置、クラッチあるいはエンジンそれ自体の固定を含む） ただし、それらの公認された位置が変更されていないこと。 ２　ボディワーク 全ての部門の車両は、２０１５－２０２０および２０１８－２０２０のＣＩＫ－ＦＩ

A公認フロントフェアリング取付キットの使用が義務付けられ、次の国際規則が準用される。（ ）内の※は日本選手権における取り扱いを示す。

（1）２０１９年ＣＩＫ－ＦＩＡ国際競技規則４．２の３０

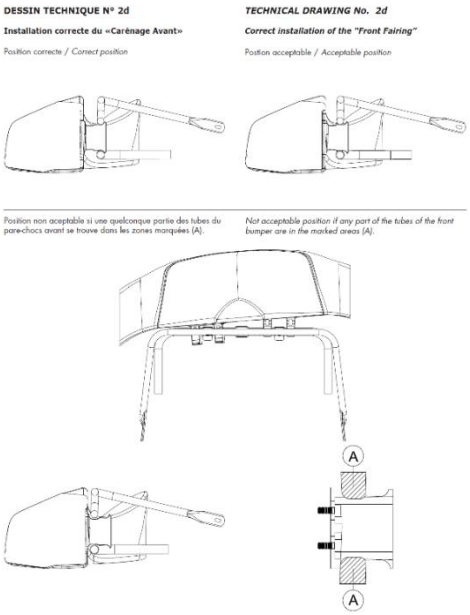
①すべてのＣＩＫ－ＦＩＡ選手権、カップおよびトロフィー（スーパーカートを除く）では、公認されたフロントフェアリング、および２０１５年～２０２０年または２０１８－２０２０の公認期間の車体で公認されたフロントフェアリング取付キットの使用が義務付けられる。

②予選ヒートからファイナルまでの間に、各ドライバーは、カートから外されたフロントフェアリングの組み立てエリアである「スタート」サービスパーク（※指定されたエリア）に入らなければならない。メカニックあるいはドライバー自身が、車検員（※技術委員）の監督下にある組み立てエリアである「スタート」サービスパーク（※指定されたエリア）にてフロントフェアリングを装着しなければならない。

③予選ヒート、およびファイナルの間、フロントフェアリングは、修理エリア（※ピットエリア）においてのみ正しい位置に装着することのみ認められる。

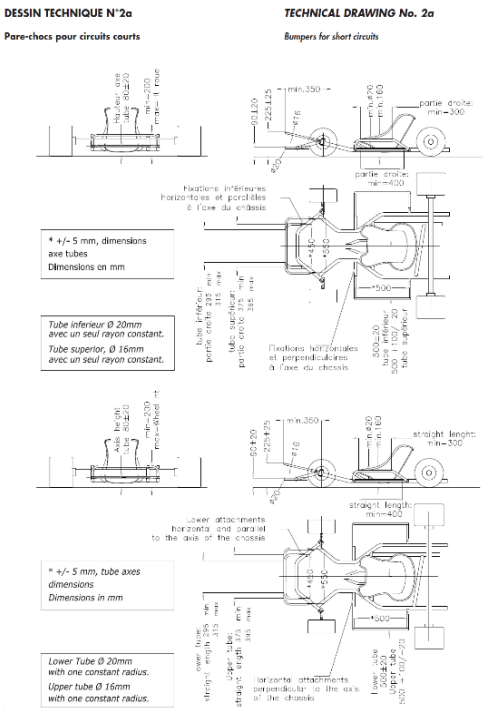
④正しいフロントフェアリングの装着

フロントフェアリング（フロントフェアリング取付キットを使用）は競技の間常に正確な位置になければならない（技術図面Ｎｏ．２ｄ参照）。



	⑤黒地にオレンジ色の円のついた旗は、フロントフェアリングが正確な位置にもはやない状態である場合、当該ドライバーに提示されることはない。 ⑥黒白のチェッカーフラッグが振られており、審判員がカートのフロントフェアリングが正確な位置にない１台もしくはそれ以上のカートがフィニッシュラインを通過したことを報告する場合、(※車検場または車両保管場所における確認結果を報告する場合) いかなる状況においても、５秒のタイムペナルティーが当該ドライバー (含複数) に課される。このタイムペナルティーを抗議の対象とすることはできない。 ⑦最終ラップ中あるいは黒白のチェッカーフラッグが振られた後に、ドライバーが正確に装着されていないフロントフェアリングを故意に正確な位置に戻したとされた／証明された場合、当該ドライバーはレース失格の処分を受ける。 ⑧「最終ラップ」のパネルがドライバーに対して示された (※合図または提示) 時点から、修理エリア (※ピットエリア) は閉鎖される。 ⑨フロントフェアリングが規定に適合しているかを検査するため、RAE Systems 社 (ＵＳＡ) のミニレイ・ライト (MiniRAE Lite) 計測装置が、予選、予選ヒートおよびファイナルで使用される (※使用される場合がある)。 いかなる状況においても、フロントフェアリングのＶＯＣ (揮発性有機化合物) 測定値は５ｐｐｍ (最大制限値) を超えてはならない。 注：例えば清掃スプレーなどによる、フロントフェアリングの汚染は、これによって制限値の超過に成り得る場合があるため、避けなければならない。 ⑩検査の結果、フロントフェアリングが規定に適合していないことが判明した場合、当該ドライバーは組み立てエリア (※指定されたエリア) に入ることは禁止される。従って、対応する競技部分に (予選、予選ヒート、ファイナル) に参加することはできない。この手続きに関する抗議は受け付けられない。この点に関する抗議および控訴は停止効力を持たない。 (2) ２０１９年ＣＩＫ－ＦＩＡ国際カート技術規則２．５．１の２．５．１．１ ①フロントバンパーは少なくとも２つの鋼鉄製の部品で構成されていなくてはならない。 ②上部の鋼鉄製バーの直径は最小１６mm (２つのコーナーは一つの一定の湾曲度でなければならない)、下部の鋼鉄製バーの直径は最小２０mm (２つのコーナーは一つの一定の湾曲度でなければならない) で、上下のバーは連結されていること。 ③上記の２つの部品は、ペダルの付属装置から独立していること。 ④フロントバンパーは、必備であるフロントフェアリングの取り付けが可能な形状であること。

⑥ 上記②の２つの部品は、図 No.2c に示すとおり、垂直に配されなければならず、フロアトレイ／メインシャシー軸に対して直角でなければならない。 ⑦ フロントオーバーハング：最小３５０mm ※以下⑧～⑭ に番号繰り下げ	⑤フロントバンパーは、４点でシャシーフレームに取り付けられていなければならない。 ⑥フロントオーバーハング：最小３５０mm ⑦下部バーの幅：直線部全長でカートの縦軸に対して最小２９５mm、最大３１５mm ⑧下部バーの取付部品は、シャシーの軸に対して平行で（水平・垂直方向に）、バンパーを５０mm取り付けられる（シャシーフレームへの取付装置システム）形状であること。 ⑨取付部品は互いに４５０mm離し、地上から９０＋／－２０mmの高さでカートの縦軸の中心に取り付ける。 ⑩上部バーの幅：直線部全長でカートの縦軸に対して最小３７５mm、最大３９５mm ⑪上部バーの高さは、地上から２００mm～２５０mmとする。 ⑫上部バーの取付部品は、互いに５５０mm離し、カートの縦軸の中心に取り付ける。 ⑬上下バーの取付部品は、シャシーフレームに溶接されてなくてはならない。



（3）フロントフェアリング（Ｆフェアリング）とフロントバンパー（Ｆバンパー）とフロントフェアリング取付キット（Ｆフェアリング取付キット）の組み合わせは、Ｆフェアリングとバンパーの公認番号が同一でなければならない。
なお、Ｆバンパーは上記（2）２０１９年ＣＩＫ－ＦＩＡ国際カート技術規則２．５．１の２．５．１．１にも適合していなければならない。

＜組み合わせ例＞

－認められる：Ｆフェアリング（KG 2/CA/20）＋Ｆバンパー（KG 2/CA/20）＋Ｆフェアリング取付キット（KG 1/CA/20 01/01/ET または Righetti Ridolfi 005-BK-99）

－認められる：Ｆフェアリング（Eurostar 50/CA/20）＋Ｆバンパー（Eurostar 50/CA/20）＋Ｆフェアリング取付キット（KG 1/CA/20 01/01/ET または Righetti Ridolfi 005-BK-99）

－認められる：Ｆフェアリング（CRG 72/CA/20）＋Ｆバンパー（CRG 72/CA/20）＋Ｆフェアリング取付キット（KG 1/CA/20 01/01/ET または Righetti

Ridolfi 005-BK-99）
ー認められる：Ｆフェアリング（OTK 100/CA/20）＋Ｆバンパー（OTK 100 /CA/20）
＋Ｆフェアリング取付キット（KG 1/CA/20 01/01/ET または Righetti Ridolfi 005-BK-99）

※導風ダクトは禁止とする（ただし、ブレーキダクトは認める）。
※なお、本適用車両規則について、ＪＡＦは年度途中においても事前予告をもって変更する権利を留保する。

以上

全日本カート選手権ＦＳ－１２５部門適用車両規定

1　エンジン
（1）ＩAME　ＰＡＲＩＬＬＡ　Ｘ３０のみの使用とし、一切の変更・改造は禁止される。また、全ての部品、取付は工場出荷時の状態から変更は認められない。
（2）シリンダーヘッドの上面に「ＪＡＰ」または、「ＪＰＮ」の刻印があるものに限る。
（3）シリンダーガスケットはＸ３０純正品の下記の部品番号に限る。
シリンダーG/K　部品番号 EBP-125045　０．４mm
シリンダーG/K　部品番号 EBP-125046　０．２mm
シリンダーG/K　部品番号 EBP-125047　０．１mm
（4）リードペダルはメーカー純正グラスファイバー製０．３mm（部品番号 X3011840）のみの使用に限る。
メーカー純正オプションカーボン製（部品番号 F-11840-C／F-11841-C）は使用を禁止する。
（5）クラッチドラム、クラッチシュー、クラッチベアリング、クラッチオーリングはＸ３０純正部品の下記の部品番号の使用に限る。
クラッチドラム　　X30125550A
クラッチベアリング　　B-55598
クラッチオーリング　　A-60565
クラッチシュー　　X30125840 または X30125841
スターターギア　　X30125830 または X30125831
クラッチは、組付け後、油脂類は速やかに除去され、またいかなる物も塗布、付加等は禁止する。

（6）ドライブスプロケットは＃２１９チェーンサイズ用のみの使用に限る。
（7）メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。
オイルシール、ドライブスプロケット、スモールエンドベアリング、ビッグエンドベアリング、サークリップ、ケースベアリング、バランスシャフトベアリング 6005/6202、ボルト、ナット、ワッシャー、コンロッドワッシャー
但し、ケースベアリングは単列深溝玉軸受ボールベアリング 6206 番台の開放形に限る。銘柄は自由とする。

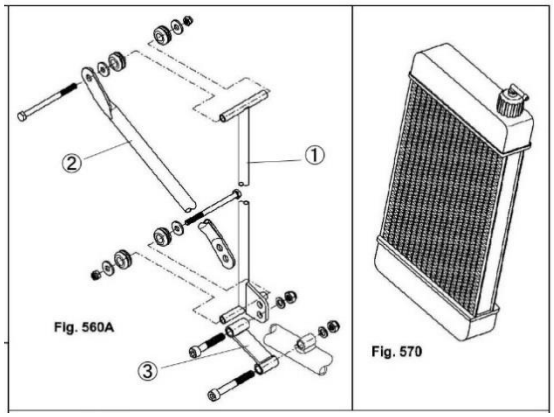
2　吸気系統
（1）キャブレターはＸ３０純正部品の Tryton HB27C（ベンチューリーの最大直径２６mm以下）または Tillotson HW27A（ベンチューリー最大直径２７mm以下）の使用を可能とし、改造は一切認められない。
（2）メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。
メタルダイアフラム、ポンプダイアフラム、ダイアフラムガスケット、インレットニードル&ガスケット、メタリングレバー、メタリングレバーピン、インレットスプリング、ストレーナカバー、ストレーナカバーガスケット、ストレーナスクリーン、ニードルスクリューOリング
（3）インレットサイレンサー：
エンジンと一緒に供給されているオリジナル純正品とし、部品番号 10743－C1 または X30125740 のエアーフィルターを備えたゴム製マニホールドは必備とする。
直径 22mmのダクトを 2 つ備えた吸気消音器。
※22mmのダクトに取り付けるネットの着脱は自由。
改造は一切認めない。

3　マフラー
（1）使用できる純正マフラー（マフラーキャップを含む）及び取付属品は、下記の部品番号製品のみとする。
ワンピースマフラー　　部品番号 X30125715
エキゾストマニホールド　部品番号 X30125370
エキゾストスペーサー　　部品番号 X30125375
※エキゾストスペーサーの使用数は１枚、エキゾーズトガスケットは純正品を２枚、装備を義務とする。
（2）マフラーキャップはＩAME刻印のあるものとし、改造は認められない。

（3）メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。
エキゾーストスプリング

4　燃焼室
燃焼室の最小容積は7.7 cc以上とし、付則№.1による測定方法とする。
スキッシュは0．9mm以上とする。測定方法はプラグホールから1．5mmのハンダを挿入しシリンダー面に直角方向にセットしクランクシャフトを1回転させ潰れたハンダの厚みを計測。

5　ラジエターパーツ
（1）ラジエター本体と取付ステーは以下のものに限る。
Ｘ３０ラジエター
・３５０mm×１９８mm（部品番号T-8000A）
・４１０mm×１９８mm（部品番号T-8000B）
Ｘ３０標準ラジエターサポートＫＩＴ
（部品番号T-8133-C）、（部品番号T-8135-C）
※但し、補助ステー（下図②）およびフレーム本体への取付ステー（下図③）は銘柄を自由とする。



（2）ウォーターポンプ、プーリーはメーカー純正部品の使用に限る。
（3）サーモスタットは純正部品の使用に限る。
（4）サーモスタットの着脱は自由とする。
（5）メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。

ラジエターホース、ウォーターポンプベルト（Oリング）、ウォーターポンプインナーパーツ（オイルシール、ベアリング）

6　電気系統

（1）改造は一切禁止する。

（2）コントロールユニットはＲＥＶリミット１５，５００ｒｐｍのものに限る。（部品番号X30125930）

（3）バッテリーの搭載方法はシャシーフレームの周辺、またはフロアに設置する。

（4）バッテリーボックスは銘柄自由。

（5）バッテリー搭載クランプはしっかり固定できるものであれば銘柄自由。

（6）プラグは一般市販状態のネジ山長１９mm以下のものに限る。プラグワッシャーも含めて市販状態とし、ネジ山長の変更禁止。

（7）以下の電装パーツはＸ３０純正部品のみの使用に限る。

部品番号

ワイヤーハーネス

X30125935-C またはX30125935D-C

イグニッションＳＥＬＥＴＴＲＡ

X30125950 またはX30125952

スターターリレー

X30125941 またはIFE-05200

ケーブルハーネスアダプター

２０１２－２０１３変換用X30125939

（8）メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。

バッテリー、プラグ、プラグキャップ、コイルアースケーブル

7　最低重量：１５５ｋｇ

8　ボディワーク

ＯＫ部門適用車両規定の２ボディワークを適用する。

※導風ダクトは禁止とする（ただし、ブレーキダクトは認める）。

以上

２０２１年以降の変更点

1　エンジン

（1）（略）

（2）シリンダーヘッドの上面に「ＪＡＰ」または、「ＪＰＮ」の刻印があるものに限る。エンジン・シリアル番号M3521 / B3059 以前のエンジンに刻印のあるシリンダーを使用することはできるが、M3521 / B3059 以降のエンジンに刻印のないシリンダーを使用することはできない。

（3）（略）

（4）リードペダルはメーカー純正グラスファイバー製０．３mm（部品番号X3011840）あるいはメーカー純正オプションＣＦＲＰ製0.24㎜（部品番号F-11840-C）のみの使用に限る。グラスファイバー製とＣＦＲＰ製を混ぜて使用することは認められない

メーカー純正オプションカーボン製（部品番号F-11840-C／F-11841-C）は使用を禁止する。

（5）～（6）（略）

（7）メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。

オイルシール（工場出荷時と同方向にて取付けること。開口部がクランクケース側であること）、ドライブスプロケット、~~スモールエンドベアリング、ビッグエンドベアリング、~~サークリップ、ケースベアリング、バランスシャフトベアリング 6005 C3/C4、6202 C3/C4/C4H、ボルト、ナット、ワッシャー、~~コンロッドワッシャー~~

但し、ケースベアリングは単列深溝玉軸受ボールベアリング 6206 番台の開放形に限る。銘柄は自由とする。

2　吸気系統

（1）キャブレターはＸ３０純正部品の Tryton HB27C（ベンチューリーの最大直径２６mm以下）または Tillotson HW27A（ベンチューリー最大直径２７mm以下）の使用を可能とし、キャブレター・ガスケットの厚みは１mm（+/-0.3mm）であること。改造は一切認められない。

（2）（略）

（3）インレットサイレンサー：

エンジンと一緒に供給されているオリジナル純正品とし、部品番号~~10743－C1 または~~X30125740 のエアーフィルターを備えたゴム製マニホールドは必備とする。

直径 22mmのダクトを２つ備えた吸気消音器。

※22mmのダクトに取り付けるネットの着脱は自由。

改造は一切認めない。

3　マフラー
(略)

4　燃焼室
燃焼室の最小容積は7.7 cc以上とし、付則№.１による測定方法とする。
スキッシュは０．９mm以上とする。測定方法はプラグホールから１．５mmのハンダを挿入しシリンダー面に直角方向にセットしクランクシャフトを１回転させ潰れたハンダの厚みを計測。

5　ラジエターパーツ
（1）ラジエター本体と取付ステーは以下のものに限る。
Ｘ３０ラジエター
~~・３５０mm×１９８mm（部品番号T-8000A）~~
・４１０mm×１９８mm（部品番号T-8000B）
・４１０mm×２３０mm（部品番号T-8001）

Ｘ３０標準ラジエターサポートＫＩＴ
（部品番号T-8133-C）、（部品番号T-8135-C）、部品番号T-8136-C）
※但し、補助ステー（下図②）およびフレーム本体への取付ステー（下図③）は銘柄を自由とする。
（2）～（5）(略)

6　電気系統
（1）メーカー純正のSELETTRA　Digital-K改造はあるいはSELETTRA　Digital-Sが使用可能だが、改造は一切禁止する。

（2）SELETTRA　Digital-Kのコントロールユニットは回転数~~ REV~~リミット１５，５００ｒｐｍ~~のものに限る。~~（部品番号X30125930）、あるいは回転数リミット１６，０００ｒｐｍ（部品番号X30125930-C）のコントロールユニットCを使用しなくてはならない。

（3）～（6）(略)
（7）以下の電装パーツはＸ３０純正部品のみの使用に限る。
部品番号
ワイヤーハーネス
X30125935-C、X30125935D-C またはIFE-05003A
イグニッションＳＥＬＥＴＴＲＡ
X30125950、X30125952 またはX30125953
スターターリレー
X30125941 またはIFE-05200
ケーブルハーネスアダプター
２０１２－２０１３変換用X30125939
（8）(略)

7 ～ 8 (略)

※以上は２０２１年以降の変更点

全日本カート選手権ＦＰ－３部門適用車両規定

1　エンジンは日本国内仕様のＫＴ１００ＳＥＣまたはＫＴ１００ＳＤとし、改造は一切禁止され市販状態とする。但し、カーボンの除去やキズ修正は研磨とみなされない限りの範囲で認められる。
型式は、7YA・7YB・7YD・7YE・7YF・7YT・7YU型に限られる。

2　エンジン改造禁止対象部品
シリンダーヘッド、シリンダーボディー、シリンダーヘッドガスケット、シリンダーガスケット、ピストンピン、ピストンピンクリップ、コンロッド、ベアリング類、クランク、クランクピン、オイルシール、クランクケース、ピストン、ピストンリング、プラグコード
クラッチは、組付け後、油脂類は速やかに除去され、またいかなる物の塗布、付加等は禁止する。
（1）コンロッドは下記パーツＮｏ.の物に限る。

	7F6-11651-00、7F6-11651-01、7F6-11651-02 （2）ボアサイズは５２．６１mmまで可とし、ピストン及びリングのオーバーサイズ純正品への変更が認められる。 （3）ピストンはＫＴ１００ＦＰ用（7YG）、ＫＴ１００ＳＰ用（J67）の使用が認められる。 （4）シリンダーボディーは側面に、縦１０mm横１６mmの座及びドライブ側に「7ET」、マグネット側に「Y3」または「Y4」の浮き文字がある物とする。 （5）スキッシュエリアの規定 シリンダーヘッドガスケットはヤマハ純正品：7ET-11181-10またはＳＬＯ調整用ガスケット、銅製で０．０５mm厚、０．１mm厚、０．２mm厚の３種いずれかを使用。枚数や厚みの規定はないが、φ３．０mm以上のハンダを使用し、ドライブ側と電気側の両サイドのスキッシュエリア数値２ヶ所を計測し、その潰れた数値（ハンダの厚み）の合計が４．５mm以上であること。 （6）シリンダーヘッドはＹＡＭＡＨＡの浮き文字があり、改造防止のフライス加工を追加した物に限る。 （7）クランクケースは7YA・7YB・7YD・7YE・7YG・7YT・7YU打刻のものに限られる。但し、部品販売品については同仕様のものとする。 （8）クランクシャフトはＫＴ用（7YA・7YB・7YT・7YP）とＫＴ１００ＦＰ用（7YG）およびＫＴ１００ＳＰ用（J67）のみとする。 ＫＴ用、ＳＰ用のクランクシャフト大端ベアリングおよびクランクサイドベアリングの使用が認められる。 （9）クランクは大端規制方式に限る。 3　吸気系統改造禁止対象部品 キャブレターアッセンブリ、キャブレターガスケット、ジョイントキャブレター、マニホールド、ジョイントエアクリーナー （1）キャブレターはWB3A、WB21またはWB33でなければならず改造は一切禁止される。また、チョークレバーを取り外し、穴を埋めることは認められる。 但し、キャブレター部品について相互交換及びヤマハ純正部品との交換は認められる。
（2）ＣＩＫ－ＦＩＡ公認または公認実績品の吸気消音器またはヤマハ純正吸気消音器を必備とする。尚、吸気消音器本体（取付部品を除く）の改造は禁止され、吸気孔の１つの穴の大きさはφ２３㎜以下とする。	（2）ＣＩＫ－ＦＩＡ登録、公認または公認実績品の吸気消音器またはヤマハ純正吸気消音器を必備とする。尚、吸気消音器本体（取付部品を除く）の改造は禁止され、吸気孔の１つの穴の大きさはφ２３mm以下とする。

２０２１年以降は、ヤマハ純正吸気消音器のみとする。	２０２０年以降は、ＣＩＫ－ＦＩＡ公認または公認実績品の吸気消音器またはヤマハ純正吸気消音器のみとする。 （3）ジョイントキャブレター、マニホールド、ジョイントエアクリーナーは下記の部品番号の物とし、改造は一切禁止される。 ジョイントキャブレター （黒色：787-13586-01） 公差±０．５mm マニホールド　7YA-13585-00 ジョイントエアクリーナー　7YF-14453-03 4　点火系統 改造は一切禁止され市販状態とする。 点火方式はTCIとし7ET-85510-01（ステーターとTCIユニットが一体式）に限る。 5　排気系統改造禁止部品 マフラー本体は CIK の刻印がある7YA 型とする。 マフラーコンプリート(7YA-14701-00-98)・サイレンサーアセンブリー(7YA-14750-09)の組合せとし、改造は一切禁止され市販状態とする。エキゾーストパイプは7YT-14610-00または7YU-14610-00。溶接、加工の入ったものは使用禁止とする。また、排気センサーの取付けは可。センサーを取り付けるための溶接は認められる。その他ジョイントエキゾースト(ジャバラ)本体の内径に変化のあるものは禁止する。ジョイントエキゾースト（ジャバラ）に消音や保護のためのプロテクターや保護材の取り付けは認められる。 なお、エギゾーストガスケット及びジャバラは純正部品以外の使用が認められる。 6　プラグは一般市販状態のネジ山長１９mm以下のものに限る。プラグワッシャーも含めて市販状態とし、ネジ山長の変更禁止。 7　その他 純正部品以外の使用が認められる物は以下の通り。 プラグ、エギゾーストジョイント（ジャバラ）、エギゾーストガスケット、ボル

ト／ナット（キャブレターインレット部品を除く）、ワッシャー、スプリング、キー（ローターキー除く）ブラケット、ワイヤー、ホース、ホースクリップ、バンド

※導風ダクトは禁止とする（ただし、ブレーキダクトは認める)。

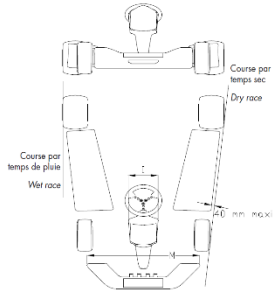
８　最低重量：１５０ｋｇ

９　ボディワーク
全日本カート選手権ＯＫ部門適用車両規定の２ボディワークを適用する。

以上

２０１９年ＪＡＦ国内カート競技車両規則（抜粋)

第2章　一般規定
第7条　バンパー
５．リアプロテクション
１３）如何なる状況下においても、リアプロテクションは、リアホイール水平面からはみ出してはならない。

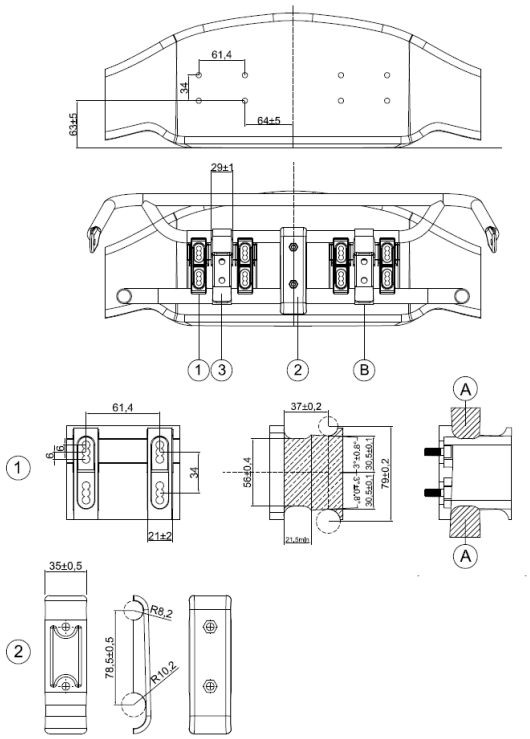


ＣＩＫ－ＦＩＡ技術規則（抜粋)

付則Ｎｏ．１（参考)
ａ）、ｂ）（省略)
ｃ）ＯＫにおいては、次に計測した容量から「プラグインサート」容量（２ｃｃ）を引いた値

	が９ｃｃ未満であってはならない。 ｄ）（省略） X30エンジンにおいては、次に計測した容量から「プラグインサート」容量（２cc）を引いた最少容積が７．７cc以上とする。 燃焼室の容量計測のための一般的方法。 ＊シャシーからエンジンを降ろす。 ＊エンジンが周囲の温度になるまで待つ。 ＊点火プラグの突出を検査するため、シリンダーヘッドを外させる。 ＊点火プラグを外させる（１８．５mmの寸法を検査）。 ＊点火プラグの代わりに「プラグインサート」をねじ留める（シリンダーヘッドに締め付けられた「プラグインサート」は、燃焼室のドーム上部より突出してはならない。長さ１８．５mmの点火プラグと同じ方法でシリンダーに固定されなければならない）。 ＊ピストン最上部とシリンダーの周囲を、グリスを用いて防水処理する。 ＊ピストンを上死点に位置させ、クランクシャフトを固定する。 ＊はみ出したグリスを丁寧に取り除く。 ＊シリンダーを元に戻し、製造者によって推奨されるトルク値でこれを締め付けさせる。 ＊実験用の目盛り付きビュレット(機械式または電子式)を用いて、燃焼室を「プラグインサート」の上端部分の最高位まで（ＤＥＸＴＲＯＮ Ⅵ ｔｙｐｅ ｏｉｌで）満たす（ヘッドガスケット面を濡らす）。 燃焼室の容量計測のための代替方法。 ＊シャシーからエンジンを降ろす。 ＊エンジンが周囲の温度になるまで待つ ＊点火プラグを外させる（１８．５mmの寸法を検査）。 ＊点火プラグの代わりに「プラグインサート」をねじ留める（シリンダーヘッドに締め付けられた「プラグインサート」は、燃焼室のドーム上部より突出してはならない。長さ１８．５mmの点火プラグと同じ方法でシリンダーに固定されなければならない）。 ＊ピストンを上死点に位置させ、クランクシャフトを固定する。 ＊実験用の目盛り付きビュレット(機械式または電子式)を用いて、燃焼室を「プラグインサート」の上端部分の最高位まで（ＤＥＸＴＲＯＮ Ⅵ ｔｙｐｅ ｏｉｌで）満たす（ヘッドガスケット面を濡らす）。 ＊測定値が一致しない場合は、付則１の「一般的方法」に従って完全な手順を実行する必要がある。 ２０１５－２０２０／２０１８－２０２０

ＣＩＫ－ＦＩＡ公認フロントフェアリング取り付け方式



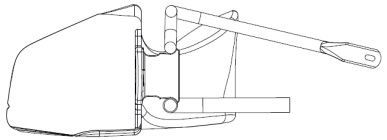
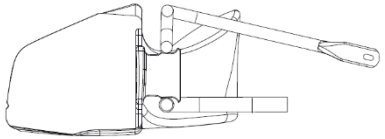
A…この領域にはいかなる部品も（例えばネジであっても）許されない。

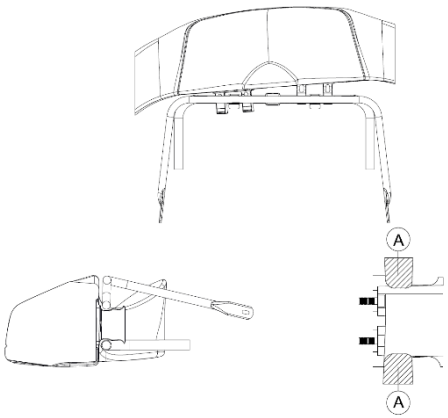
B…フッククランプは工具を用いることなく手で開け閉めできること　。

フロントフェアリング取付キットを使用してフェアリングをカートに取り付けることのみが認められる。他の手段は認められない。フロントフェアリングは、自由にシャシーの方向へ後退できなければならず、その動きを制限するような部品による妨げがあってもならない。

フロントバンパー（上下パイプ）はシャシーに強固に結合され、表面が平坦でなければならない。フロントバンパーの摩擦を最大化するようないかなる機械加工やその他の作業は厳重に禁止される。

フロントバンパー（上下パイプ）とフロントフェアリングの間隔は、如何なる時も全

	ての箇所において最少２７mmなければならない。 **フロントフェアリング取付キットの定義** １．フロントフェアリング用取付具一式（２点＋８本のネジ） ２．フロントバンパーサポート（２つのハーフシェル＋２本のネジ） ３．調整可能なフッククランプ（２点、金属製のこと） **下記の各部品にCIKロゴおよび公認番号の浮き彫りがあること。** １．フロントフェアリング用取付具一式（２点はプラスチック製のこと） ２．フロントバンパーサポート（２つのハーフシェルはプラスチック製のこと） ＜技術図面Ｎｏ．２ｄ＞ ［正しい装着状態］  ［許容できる装着状態］  ［正しくない装着状態］：フロントバンパーのバーが、矢印で示す斜線の領域内にある状態



以上

ジュニアカート選手権ＦＰ－Ｊｒ部門／ＦＰ－ＪｒＣａｄｅｔｓ部門適用車両規定

1　ワンメイクエンジンの機種：
　ヤマハ発動機株式会社製ＫＴ１００ＳＥＣ
2　配付されるエンジンの範囲：
（1）配付されるもの
・エンジン（セル付、クラッチ組込み済）
　ＦＰ－ＪｒＣａｄｅｔｓ部門のエンジンには、シリンダーヘッドガスケットが３枚装着される。
・キャブレター周辺部品
　キャブレターガスケット
　ジョイントキャブレター
　ＦＰ－Ｊｒ部門：２６.０φmm
　（787-13586-00・787-13586-01）
　ＦＰ－ＪｒＣａｄｅｔｓ部門：１４.５φmm
　（7YU-13586-09）

	マニホールド　　7YA-13585-00 ジョイントエアクリーナー１　　7YF-14453-03 ・吸気消音器取り付け用フランジ ・ドライブスプロケットは１１Ｔ（219チェーン用）を装着してデリバリーする。ただし、一部開催コースで１０Ｔを装着してデリバリーする場合がある。 ※配付されるエンジンは、予め封印が施されており、分解等は行ってはならない。 ※ドライブスプロケットの変更、点火時期の変更、クラッチの脱着も禁止する。 ※クラッチは、組付け後、油脂類は速やかに除去され、またいかなる物の塗布、付加等は禁止する。 （２）参加者が用意するもの ・キャブレター（WB3A、WB21、WB33） キャブレターアッセンブリ、キャブレターガスケット、ジョイントキャブレター、マニホールド、ジョイントエアクリーナーの改造は一切禁止される。但し、上記型式のキャブレター部品（全てのガスケット、全てのダイヤフラムとハイ＆ローニードルバルブ、スプリングなどの構成部品及びヤマハ純正オプションパーツ）であれば、交換が認められる。また、チョークレバーを取り外し、穴を埋めることは認められる。 ・マフラー本体は CIK の刻印がある7YA 型とする。 マフラーコンプリート(7YA-14701-00-98)・サイレンサーアセンブリー(7YA-14750-09)の組合せとし、改造は一切禁止され市販状態とする。エキゾーストパイプは7YT- 14610-00または7YU-14610-00。溶接、加工の入ったものは使用禁止とする。また、排気センサーの取付けは可。センサーを取り付けるための溶接は認められる。その他ジョイントエキゾースト(ジャバラ)本体の内径に変化のあるものは禁止する。ジョイントエキゾースト（ジャバ ラ）に消音や保護のためのプロテクターや保護材の取り付けは認められる。
・ＣＩＫ－ＦＩＡ公認または公認実績品の吸気消音器またはヤマハ純正吸気消音器を必備とする。尚、吸気消音器本体（取付部品を除く）の改造は禁止され、吸気孔の１つの穴の大きさはφ２３mm以下とする。 ２０２１年以降は、ヤマハ純正吸気消音器のみとする。	・ＣＩＫ－ＦＩＡ登録、公認または公認実績品の吸気消音器またはヤマハ純正吸気消音器を必備とする。尚、吸気消音器本体（取付部品を除く）の改造は禁止され、吸気孔の１つの穴の大きさはφ２３mm以下とする。 ２０２０年以降は、ＣＩＫ－ＦＩＡ公認または公認実績品の吸気消音器またはヤマハ純正吸気消音器のみとする。 ・エンジンマウント

	・セル用電装部品（バッテリー、スイッチ、ワイヤーハーネス等） （3）特別事項 オーガナイザーは、その他の部品（上記2．の1）および2）を含む）について、仕様等を指定する場合がある。この場合の詳細事項は、特別規則書または公式通知に示す。 3　配付されるエンジンの数 ドライバー1名につき1基。 4　配付される期間：各競技会の決勝ヒート前日の朝から正式競技結果発表まで貸し出し（決勝ヒート前日の夕刻に一旦回収し、決勝ヒート当日の朝まではオーガナイザーが保管） ※詳細については、各競技会のタイムスケジュールによる。 5　配付されるエンジンの使用料：競技会毎に発行される特別規則書に定める。（シリーズ統一料金）
6　ＦＰ－ＪｒＣａｄｅｔｓ部門のドライタイヤに使用できるホイールは、リムの内側の寸法でフロント最大１２０mm、リヤ最大１５０mmとする（公差＋１mm）	6　ＦＰ－ＪｒＣａｄｅｔｓ部門のドライタイヤに使用できるホイールは、リムの内側の寸法でフロント最大１３０mm、リヤ最大１５０mmとする（公差＋１mm） ２０２０年以降は、フロント最大１２０mmとする。
7　ＦＰ－ＪｒＣａｄｅｔｓ部門のリヤプロテクションは、下記「２０２０年ＪＡＦ国内カート競技車両規則抜粋（参考）」を満たす一般市販品とする。	7　ＦＰ－ＪｒＣａｄｅｔｓ部門のリヤプロテクションは、下記「２０１９年ＪＡＦ国内カート競技車両規則抜粋（参考）」を満たす一般市販品とする。 8　ボディワーク ＦＰ－Ｊｒ部門のボディワークは、OK部門適用車両規定の２ボディワークを適用する。 ＦＰ－ＪｒＣａｄｅｔｓ部門のボディワークは、２０１５－２０２０または２０１８－２０２０のＣＩＫ－ＦＩＡ公認フロントフェアリング取付キットの使用を適用する。 ※導風ダクトは禁止とする（ただし、ブレーキダクトは認める）。 以上

２０２０年ＪＡＦ国内カート競技車両規則（抜粋）

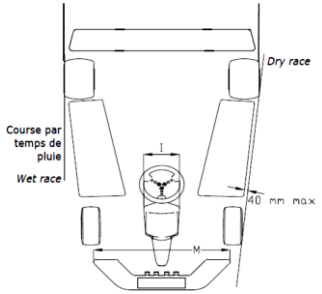
２０１９年ＪＡＦ国内カート競技車両規則（抜粋）

第２章　一般規定

第７条　バンパー

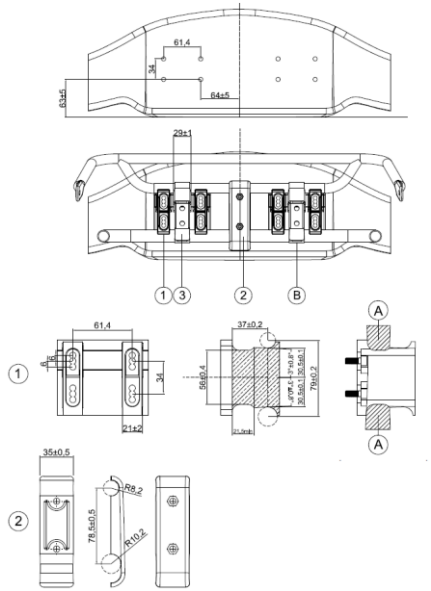
５．リアプロテクション

１３）如何なる状況下においても、リアプロテクションは、リアホイール水平面からはみ出してはならない。



２０１５－２０２０／２０１８－２０２０

ＣＩＫ－ＦＩＡ公認フロントフェアリング取り付け方式



A…この領域にはいかなる部品も（例えばネジであっても）許されない。

B…フッククランプは工具を用いることなく手で開け閉めできること。

フロントフェアリング取付キットを使用してフェアリングをカートに取り付けることのみが認められる。他の手段は認められない。フロントフェアリングは、自由にシャシーの方向へ後退できなければならず、その動きを制限するような部品による妨げがあってもならない。

フロントバンパー（上下パイプ）はシャシーに強固に結合され、表面が平坦でなければならない。フロントバンパーの摩擦を最大化するようないかなる機械加工やその他の作業は厳重に禁止される。

フロントバンパー（上下パイプ）とフロントフェアリングの間隔は、如何なる時も全ての箇所において最少２７mmなければならない。

フロントフェアリング取付キットの定義

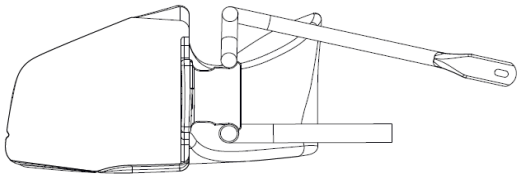
１．フロントフェアリング用取付具一式（２点＋８本のネジ）
２．フロントバンパーサポート（２つのハーフシェル＋２本のネジ）
３．調整可能なフッククランプ（２点、金属製のこと）

下記の各部品にＣＩＫロゴおよび公認番号の浮き彫りがあること。

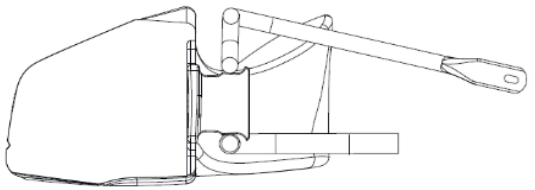
１．フロントフェアリング用取付具一式（２点はプラスチック製のこと）
２．フロントバンパーサポート（２つのハーフシェルはプラスチック製のこと）

＜技術図面Ｎｏ．２ｄ＞

［正しい装着状態］



［許容できる装着状態］



［正しくない装着状態］：フロントバンパーのバーが、矢印で示す斜線の領域内にある状態

